



たか はし まさ いち
高 橋 政 一
(市民クラブ)

- 医療・介護総合推進法の内容と第6期介護計画に与える影響は
- 医療改革プランの現状と医療・介護総合推進法の影響は

質問 今年の6月に成立した医療・介護総合推進法は、介護保険制度を大きく変更する内容となっている。その内容と来年から始まる第6期介護保険計画に与える影響はどうか。

市長 この総合推進法は、医療制度改革と一体的に介護保険制度改革を行うものである。内容は、地域包括ケアシステムの構築、低所得者の保険料の軽減強化、訪問介護及びデイサービスの地域支援事業への移行、特別養護老人ホームへの新規入所者を原則要介護度3以上に限定すること、一定以上の所得者の自己負担を2割への引き上げなどである。第6期介護保険計画では、保険料の算定はもとより、団塊の世代が後期高齢者となる2025年のサービス水準、給付費や保険料水準なども計画に記載することになる。

質問 第6期計画では介護保険料はどうか。

市長 65歳以上の1号介護保険料の引き上げは避けられない見通しである。

質問 前沢診療所の医師確保の見通しと、江刺区内診療所の今後の運営の方向性はどうか。総合推進法に係る病床機能の申請はどう考えているか。

市長 医師確保について、水面下で複数の方と交渉中であるが、採用に至るかまだ見えていない。江刺区内診療所は代替案を示さないうちは廃止しない。病床機能は、まごころ病院が地域包括ケア病棟の新設を検討している。



高齢者総合福祉施設ぬくもりの家(胆沢区)



さ と う く に お
佐 藤 邦 夫
(市民クラブ)

- 江刺愛宕地区センターの活用方法は
- 公的施設(愛宕地区センターを含む)など遊休不動産の有効活用を

質問 江刺愛宕地区センターは改築の予定で、場所は「江刺西体育館の敷地内」が第一候補になっているようだ。今の地区センターは使い勝手が良いし、先の震災の大きな揺れにもびくともしなかったように、取り壊すにはもったいないと思う。そこで以下について伺う。

① 活用の条件はあるのか
② 解体となった場合の取り壊し時期と解体費用について

市長 ① 江刺愛宕地区センターは耐用年数未経過であり国庫補助金を活用しているので、公的用途への転用、公共団体などへの無償貸与の範囲で検討している。

② 耐用年数内に限る活用を基本としているので、解体時期は、平成51年度になり解体費用は市が負担する。

質問 江刺愛宕地区センターや統合により使われなくなった学校等を有効に活用することが大

切だと思う。しかし現実にはあまり有効に活用されていないように見える。今、民間等で取り入れられている「シェアハウス」として活用を推進してはどうか。

市長 遊休化している市の建物は、閉校した小学校をはじめ、23棟あるがそのうち4棟は、法定耐用年数が経過していないので、公的活用、譲渡、または貸し付け等による活用が考えられる。シェアハウスのように複数の団体等による活用や、建物の用途や機能を変更することによる活用等を考えていきたい。



江刺愛宕地区センター